



2023年7月期 第2四半期決算短信〔日本基準〕（連結）

2023年3月13日

上場会社名 株式会社アクシージア 上場取引所 東
 コード番号 4936 URL https://axxia.co.jp
 代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 段 卓
 問合せ先責任者 (役職名) 取締役管理部担当 (氏名) 福井 康人 TEL 03 (6911) 3899
 四半期報告書提出予定日 2023年3月14日 配当支払開始予定日 —
 四半期決算補足説明資料作成の有無：有
 四半期決算説明会開催の有無：有（機関投資家・アナリスト向け）

(百万円未満切捨て)

1. 2023年7月期第2四半期の連結業績（2022年8月1日～2023年1月31日）

(1) 連結経営成績（累計）

(%表示は、対前年同四半期増減率)

| | 売上高 | | 営業利益 | | 経常利益 | | 親会社株主に帰属する四半期純利益 | |
|---------------|-------|------|------|------|------|------|------------------|------|
| | 百万円 | % | 百万円 | % | 百万円 | % | 百万円 | % |
| 2023年7月期第2四半期 | 5,118 | 30.1 | 923 | 13.4 | 867 | 3.9 | 572 | 5.4 |
| 2022年7月期第2四半期 | 3,934 | 49.7 | 813 | 26.9 | 835 | 30.0 | 542 | 37.1 |

(注) 包括利益 2023年7月期第2四半期 539百万円 (△6.0%) 2022年7月期第2四半期 573百万円 (38.3%)

| | 1株当たり 四半期純利益 | 潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益 |
|---------------|-----------------|----------------------------|
| | 円 銭 | 円 銭 |
| 2023年7月期第2四半期 | 22.16 | 22.05 |
| 2022年7月期第2四半期 | 21.04 | 20.96 |

(2) 連結財政状態

| | 総資産 | 純資産 | 自己資本比率 |
|---------------|--------|-------|--------|
| | 百万円 | 百万円 | % |
| 2023年7月期第2四半期 | 10,355 | 8,974 | 86.7 |
| 2022年7月期 | 10,053 | 8,396 | 83.5 |

(参考) 自己資本 2023年7月期第2四半期 8,974百万円 2022年7月期 8,396百万円

2. 配当の状況

| | 年間配当金 | | | | |
|--------------|--------|--------|--------|-------|-------|
| | 第1四半期末 | 第2四半期末 | 第3四半期末 | 期末 | 合計 |
| | 円 銭 | 円 銭 | 円 銭 | 円 銭 | 円 銭 |
| 2022年7月期 | — | 0.00 | — | 0.00 | 0.00 |
| 2023年7月期 | — | 0.00 | — | — | — |
| 2023年7月期（予想） | — | — | — | 14.00 | 14.00 |

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無：有

3. 2023年7月期の連結業績予想（2022年8月1日～2023年7月31日）

(%表示は、対前期増減率)

| | 売上高 | | 営業利益 | | 経常利益 | | 親会社株主に帰属する当期純利益 | | 1株当たり 当期純利益 |
|----|--------|------|-------|------|-------|-----|-----------------|-----|----------------|
| | 百万円 | % | 百万円 | % | 百万円 | % | 百万円 | % | 円 銭 |
| 通期 | 10,351 | 26.0 | 1,818 | 11.3 | 1,797 | 2.9 | 1,172 | 5.0 | 45.43 |

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無：無

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動（連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動）：無
新規 ー社（社名）ー、除外 ー社（社名）ー

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用：無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 有
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数（普通株式）

| | | | | |
|---------------------|------------|-------------|------------|-------------|
| ① 期末発行済株式数（自己株式を含む） | 2023年7月期2Q | 25,851,000株 | 2022年7月期 | 25,800,000株 |
| ② 期末自己株式数 | 2023年7月期2Q | ー株 | 2022年7月期 | ー株 |
| ③ 期中平均株式数（四半期累計） | 2023年7月期2Q | 25,821,592株 | 2022年7月期2Q | 25,800,000株 |

※ 四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

（将来に関する記述等についてのご注意）

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。

なお、業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料P. 3

「1. 当四半期決算に関する定性的情報（3）連結業績予想などの将来予測に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

| | |
|------------------------------------|----|
| 1. 当四半期決算に関する定性的情報 | 2 |
| (1) 経営成績に関する説明 | 2 |
| (2) 財政状態に関する説明 | 2 |
| (3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明 | 3 |
| 2. 四半期連結財務諸表及び主な注記 | 4 |
| (1) 四半期連結貸借対照表 | 4 |
| (2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書 | 6 |
| 四半期連結損益計算書 | |
| 第2四半期連結累計期間 | 6 |
| 四半期連結包括利益計算書 | |
| 第2四半期連結累計期間 | 7 |
| (3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書 | 8 |
| (4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項 | 9 |
| (継続企業の前提に関する注記) | 9 |
| (会計方針の変更) | 9 |
| (追加情報) | 9 |
| (セグメント情報等) | 9 |
| (重要な後発事象) | 9 |
| 3. その他 | 10 |

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第2四半期連結累計期間（2022年8月1日～2023年1月31日）におけるわが国の経済は、新型コロナウイルス感染症による影響が縮小傾向にあるなか、インバウンド需要の持ち直しや抑制されていた外出関連における消費などの経済活動は回復傾向にあります。ウクライナ情勢や資源価格の動向の影響等もあり、依然として不確実性を伴う状況が続いております。

国内化粧品市場においては、新型コロナウイルス感染症の影響が収束に向かい始めたことで経済活動の活性化が進み、インバウンド需要も回復しつつあることから、少しずつ消費に回復の兆しが見え始めております。

海外化粧品市場においては、依然としてウクライナ情勢の今後の展開や資源価格の動向の影響等もあり、先行き不透明な状況が続いております。

中国市場においては、ゼロコロナ政策からの転換により、一時的に新型コロナウイルス感染症の罹患者が爆発的に増加したものの、年明けから落ち着きを取り戻しつつあり、人流に回復傾向が見られております。

このような市場環境のもと、当社グループでは、中国本土で広告投資をすることにより販売力の一層強化と、次世代の成長製品の創出に取り組んでまいりました。また、中国市場をターゲットとして、差別化できる製品開発を行っており、効果・効率を謳うことができる特殊化粧品の行政認可登録などを進めております。また、国内化粧品市場におけるインバウンド需要の回復を見据え、2023年1月31日には「羽田エアポートガーデン店」をオープンする等、アフターコロナに向けた施策にも取り組んでまいりました。

以上の結果より、当第2四半期連結累計期間における経営成績は、次のとおりとなりました。

当第2四半期連結累計期間の売上高は、越境ECを含め中国国内での売上が好調に推移したことにより5,118,764千円（前年同四半期比30.1%増）となりました。営業利益は923,039千円（前年同四半期比13.4%増）、経常利益は867,757千円（前年同四半期比3.9%増）、及び親会社株主に帰属する四半期純利益は572,116千円（前年同四半期比5.4%増）となっております。

なお、当社グループは、化粧品事業の単一セグメントであるため、セグメント別の記載は省略しております。

[業績の概要]

(単位：百万円、%)

| | 前第2四半期 連結累計期間 | 当第2四半期 連結累計期間 | 対前年同四半期 増減率 |
|------------------|------------------|------------------|----------------|
| 売上高 | 3,934 | 5,118 | +30.1 |
| 営業利益 | 813 | 923 | +13.4 |
| 経常利益 | 835 | 867 | +3.9 |
| 親会社株主に帰属する四半期純利益 | 542 | 572 | +5.4 |

(2) 財政状態に関する説明

①資産、負債及び純資産の状況

(資産)

当第2四半期連結会計期間末における資産合計は、前連結会計年度末に比べて301,868千円増加し、10,355,390千円（前連結会計年度末比3.0%増）となりました。このうち流動資産は、前連結会計年度末に比べて293,274千円増加し、9,089,272千円（前連結会計年度末比3.3%増）となり、固定資産は、前連結会計年度末に比べて8,593千円増加し、1,266,118千円（前連結会計年度末比0.7%増）となりました。

流動資産の主な増加要因は、現金及び預金の増加289,397千円、製品の増加83,690千円等によるものであり、固定資産の主な増加要因は、有形固定資産が12,841千円減少したものの、無形固定資産が1,894千円、投資その他の資産が19,540千円増加したことによるものです。

(負債)

当第2四半期連結会計期間末における負債合計は、前連結会計年度末に比べて276,936千円減少し、1,380,499千円（前連結会計年度末比16.7%減）となりました。このうち流動負債は、前連結会計年度末に比べて230,743千円減少し、1,012,682千円（前連結会計年度末比18.6%減）となり、固定負債は、前連結会計年度末から46,193千円減少し、367,817千円（前連結会計年度末比11.2%減）となりました。

流動負債の主な減少要因は、短期借入金の返済79,877千円、未払法人税等の減少120,330千円等によるものです。

（純資産）

当第2四半期連結会計期間末における純資産合計は、前連結会計年度末に比べて578,804千円増加し、8,974,890千円（前連結会計年度末比6.9%増）となりました。主な増加要因は、親会社株主に帰属する四半期純利益の計上等により利益剰余金が増加したこと等によるものです。

なお、自己資本比率は86.7%（前連結会計年度末は83.5%）となりました。

② キャッシュ・フローの状況

当第2四半期連結会計期間末における現金及び現金同等物（以下「資金」という）は、前連結会計年度末に比べ289,397千円増加し、6,679,088千円となりました。

当第2四半期連結累計期間における各キャッシュ・フローの状況は次のとおりであります。

（営業活動によるキャッシュ・フロー）

当第2四半期連結累計期間における営業活動の結果、獲得した資金は554,754千円（前年同四半期は233,607千円の獲得）となりました。これは主に、税金等調整前四半期純利益867,757千円、仕入債務の増加額17,170千円等により資金が増加した一方で、売上債権の増加額48,340千円、法人税等の支払額416,540千円等により資金が減少したことによるものであります。

（投資活動によるキャッシュ・フロー）

当第2四半期連結累計期間における投資活動の結果、使用した資金は63,881千円（前年同四半期は42,968千円の支出）となりました。これは主に、有形固定資産の取得による支出26,071千円、無形固定資産の取得による支出24,617千円によるものであります。

（財務活動によるキャッシュ・フロー）

当第2四半期連結累計期間における財務活動の結果、使用した資金は135,291千円（前年同四半期は72,580千円の支出）となりました。これは主に、短期借入金の返済による支出79,877千円、長期借入金の返済による支出77,772千円等によるものであります。

（3）連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

2023年7月期の業績予想につきましては、2022年9月14日に公表いたしました「2022年7月期 決算短信」から変更はございません。

なお、当該業績予想につきましては、本日現在において入手可能な情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づき作成したものであり、実際の業績等は、今後様々な要因により異なる可能性があります。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

| | 前連結会計年度 (2022年7月31日) | 当第2四半期連結会計期間 (2023年1月31日) |
|-------------|-------------------------|------------------------------|
| 資産の部 | | |
| 流動資産 | | |
| 現金及び預金 | 6,389,690 | 6,679,088 |
| 売掛金 | 507,972 | 554,265 |
| 製品 | 1,157,528 | 1,241,218 |
| 仕掛品 | 10,745 | 10,352 |
| 原材料及び貯蔵品 | 418,177 | 330,086 |
| その他 | 313,504 | 275,881 |
| 貸倒引当金 | △1,621 | △1,621 |
| 流動資産合計 | 8,795,997 | 9,089,272 |
| 固定資産 | | |
| 有形固定資産 | | |
| 建物及び構築物 | 163,797 | 181,996 |
| 土地 | 393,578 | 393,578 |
| その他(純額) | 214,291 | 183,251 |
| 有形固定資産合計 | 771,667 | 758,826 |
| 無形固定資産 | | |
| のれん | 66,719 | 61,777 |
| その他 | 142,428 | 149,265 |
| 無形固定資産合計 | 209,148 | 211,042 |
| 投資その他の資産 | | |
| 繰延税金資産 | 116,187 | 124,877 |
| その他 | 160,521 | 171,372 |
| 投資その他の資産合計 | 276,709 | 296,249 |
| 固定資産合計 | 1,257,525 | 1,266,118 |
| 資産合計 | 10,053,522 | 10,355,390 |

(単位：千円)

| | 前連結会計年度 (2022年7月31日) | 当第2四半期連結会計期間 (2023年1月31日) |
|---------------|-------------------------|------------------------------|
| 負債の部 | | |
| 流動負債 | | |
| 買掛金 | 128,141 | 144,463 |
| 短期借入金 | 79,877 | — |
| 1年内返済予定の長期借入金 | 155,544 | 155,544 |
| 未払法人税等 | 376,743 | 256,413 |
| 賞与引当金 | 21,410 | 22,750 |
| その他 | 481,708 | 433,511 |
| 流動負債合計 | 1,243,425 | 1,012,682 |
| 固定負債 | | |
| 長期借入金 | 320,090 | 242,318 |
| 繰延税金負債 | 20,812 | 33,387 |
| 株式報酬引当金 | — | 39,455 |
| その他 | 73,108 | 52,656 |
| 固定負債合計 | 414,010 | 367,817 |
| 負債合計 | 1,657,436 | 1,380,499 |
| 純資産の部 | | |
| 株主資本 | | |
| 資本金 | 2,109,875 | 2,129,765 |
| 資本剰余金 | 2,011,875 | 2,031,765 |
| 利益剰余金 | 4,142,769 | 4,714,886 |
| 株主資本合計 | 8,264,519 | 8,876,416 |
| その他の包括利益累計額 | | |
| 為替換算調整勘定 | 131,566 | 98,474 |
| その他の包括利益累計額合計 | 131,566 | 98,474 |
| 純資産合計 | 8,396,086 | 8,974,890 |
| 負債純資産合計 | 10,053,522 | 10,355,390 |

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書
 (四半期連結損益計算書)
 (第2四半期連結累計期間)

(単位：千円)

| | 前第2四半期連結累計期間 (自 2021年8月1日 至 2022年1月31日) | 当第2四半期連結累計期間 (自 2022年8月1日 至 2023年1月31日) |
|------------------|---|---|
| 売上高 | 3,934,303 | 5,118,764 |
| 売上原価 | 996,499 | 1,175,110 |
| 売上総利益 | 2,937,803 | 3,943,654 |
| 販売費及び一般管理費 | 2,123,903 | 3,020,614 |
| 営業利益 | 813,899 | 923,039 |
| 営業外収益 | | |
| 受取利息及び配当金 | 566 | 1,681 |
| 為替差益 | 19,751 | — |
| 補助金収入 | — | 17,598 |
| その他 | 1,809 | 1,688 |
| 営業外収益合計 | 22,127 | 20,968 |
| 営業外費用 | | |
| 支払利息 | 1,011 | 3,431 |
| 為替差損 | — | 71,849 |
| その他 | 2 | 970 |
| 営業外費用合計 | 1,013 | 76,250 |
| 経常利益 | 835,014 | 867,757 |
| 税金等調整前四半期純利益 | 835,014 | 867,757 |
| 法人税、住民税及び事業税 | 279,759 | 291,792 |
| 法人税等調整額 | 12,545 | 3,849 |
| 法人税等合計 | 292,305 | 295,641 |
| 四半期純利益 | 542,708 | 572,116 |
| 親会社株主に帰属する四半期純利益 | 542,708 | 572,116 |

(四半期連結包括利益計算書)
(第2四半期連結累計期間)

(単位：千円)

| | 前第2四半期連結累計期間 (自 2021年8月1日 至 2022年1月31日) | 当第2四半期連結累計期間 (自 2022年8月1日 至 2023年1月31日) |
|-----------------|---|---|
| 四半期純利益 | 542,708 | 572,116 |
| その他の包括利益 | | |
| 繰延ヘッジ損益 | △3,978 | — |
| 為替換算調整勘定 | 34,855 | △33,091 |
| その他の包括利益合計 | 30,876 | △33,091 |
| 四半期包括利益 | 573,585 | 539,024 |
| (内訳) | | |
| 親会社株主に係る四半期包括利益 | 573,585 | 539,024 |
| 非支配株主に係る四半期包括利益 | — | — |

(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：千円)

| | 前第2四半期連結累計期間 (自 2021年8月1日 至 2022年1月31日) | 当第2四半期連結累計期間 (自 2022年8月1日 至 2023年1月31日) |
|--------------------------------|---|---|
| 営業活動によるキャッシュ・フロー | | |
| 税金等調整前四半期純利益 | 835,014 | 867,757 |
| 減価償却費 | 30,907 | 61,447 |
| のれん償却額 | — | 4,942 |
| 受取利息及び受取配当金 | △566 | △1,681 |
| 支払利息 | 1,011 | 3,431 |
| 為替差損益 (△は益) | △8,406 | 46,173 |
| 売上債権の増減額 (△は増加) | △19,182 | △48,340 |
| 棚卸資産の増減額 (△は増加) | △169,369 | △5,809 |
| 仕入債務の増減額 (△は減少) | 36,434 | 17,170 |
| 未払法人税等 (外形標準課税) の増減額 (△は減少) | △20,472 | △3,348 |
| 未払又は未収消費税等の増減額 | △50,738 | 23,383 |
| その他 | △11,165 | 8,048 |
| 小計 | 623,465 | 973,175 |
| 利息及び配当金の受取額 | 566 | 1,681 |
| 利息の支払額 | △1,057 | △3,562 |
| 法人税等の支払額又は還付額 (△は支払) | △389,366 | △416,540 |
| 営業活動によるキャッシュ・フロー | 233,607 | 554,754 |
| 投資活動によるキャッシュ・フロー | | |
| 有形固定資産の取得による支出 | △5,700 | △26,071 |
| 無形固定資産の取得による支出 | △36,831 | △24,617 |
| その他 | △436 | △13,192 |
| 投資活動によるキャッシュ・フロー | △42,968 | △63,881 |
| 財務活動によるキャッシュ・フロー | | |
| 短期借入金の純増減額 (△は減少) | — | △79,877 |
| 長期借入金の返済による支出 | △69,772 | △77,772 |
| 株式の発行による収入 | — | 39,780 |
| その他 | △2,808 | △17,422 |
| 財務活動によるキャッシュ・フロー | △72,580 | △135,291 |
| 現金及び現金同等物に係る換算差額 | 29,453 | △66,183 |
| 現金及び現金同等物の増減額 (△は減少) | 147,510 | 289,397 |
| 現金及び現金同等物の期首残高 | 5,935,360 | 6,389,690 |
| 現金及び現金同等物の四半期末残高 | 6,082,870 | 6,679,088 |

(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(会計方針の変更)

時価の算定に関する会計基準の適用指針の適用

「時価の算定に関する会計基準の適用指針」（企業会計基準適用指針第31号。以下「時価算定会計基準適用指針」という。）を第1四半期連結会計期間の期首から適用し、時価算定会計基準適用指針第27－2項に定める経過措置に従って、時価算定会計基準適用指針が定める新たな会計方針を将来にわたって適用することとしています。

なお、この変更による当第2四半期連結財務諸表への影響はありません。

(追加情報)

(新型コロナウイルス感染症の影響について)

当社グループでは、新型コロナウイルス感染症の影響については一定期間継続するものの、連結財務諸表の作成においては入手可能な情報に基づき会計上の見積りを会計処理に反映しております。また、新型コロナウイルス感染症による将来的な影響は依然として不透明であり、将来における財政状態及び経営成績に影響を及ぼす可能性があります。

(事後交付型業績連動型株式報酬制度)

2022年10月24日開催の定時株主総会の決議に基づいて、2022年8月から2024年7月まで評価期間とし、当社の取締役（社外取締役を除く）及び従業員を対象に、予め定めた業績目標の達成度に応じた数の当社の普通株式を交付するための金銭報酬債権を業績評価分の報酬として交付する事後交付型業績連動型株式報酬制度（パフォーマンス・シェア・ユニット制度）を採用しております。

これは、中長期的な企業価値向上に向けた取組みを強化し、株主の皆様との一層の価値共有を進めることを目的としたものです。

対象取締役及び従業員は、一定期間継続して当社の取締役及び従業員を務めることを条件として、評価期間における業績等の数値目標の達成率等に応じて、当社普通株式を交付するための金銭報酬債権を支給され、当該金銭報酬債権の全部を現物出資の方法で払い込むことにより、当社普通株式の交付を受けることとなります。基準交付株式数は123,805株であり、最終交付株式数は当該業績評価期間における業績等の数値目標の達成率等に応じて0～200%の範囲で算定される業績目標達成度等を乗じて算定されます。それに伴い当第2四半期連結累計期間においては、株式報酬引当金繰入額として39,455千円を計上しております。

なお、その条件の達成可能性には不確実性が伴うため、潜在株式調整後1株当たり四半期純利益の算定には含まれておりません。

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

Ⅰ 前第2四半期連結累計期間（自 2021年8月1日 至 2022年1月31日）

当社グループは、「化粧品事業」の単一セグメントであるため、記載を省略しております。

Ⅱ 当第2四半期連結累計期間（自 2022年8月1日 至 2023年1月31日）

当社グループは、「化粧品事業」の単一セグメントであるため、記載を省略しております。

(重要な後発事象)

該当事項はありません。

3. その他

当社は、東京証券取引所グロース市場に上場しておりましたが、東京証券取引所に申請しておりましたプライム市場への上場市場区分変更が2023年1月30日に承認されたことに伴い、2023年2月17日以降の上場金融商品取引所名は、東京証券取引所プライム市場となっております。